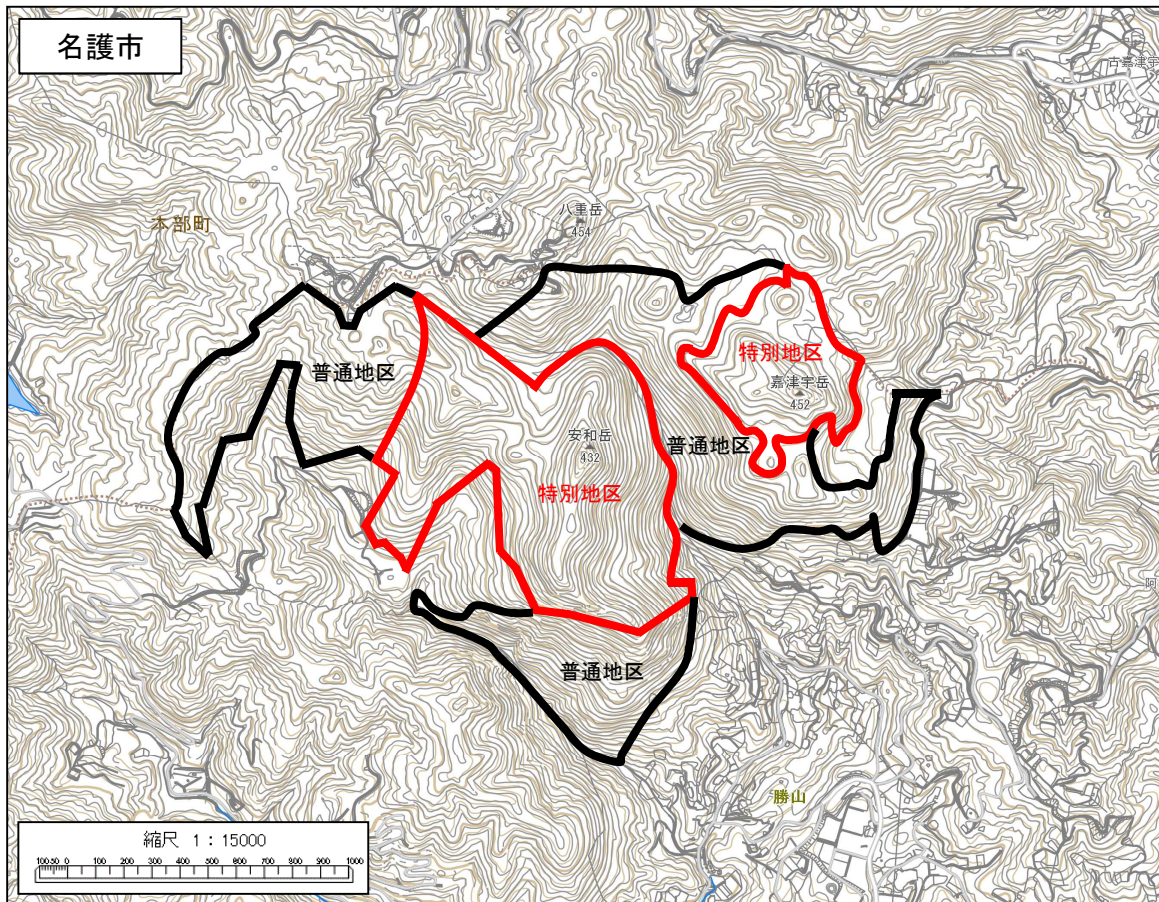


## 嘉津宇岳・安和岳・八重岳自然環境保全地域



指 定 : 平成元年3月3日

位 置 : 名護市字勝山我謝如古山

面 積 : 156.16ha  
(特別地区68.07ha 普通地区88.09ha)



### (指定理由)

本地域は、沖縄島北部本部半島の中央やや南寄りに位置し、嘉津宇岳、安和岳の山塊と八重岳の一部を含む地域で、主として中生代の本部層中の石灰岩からなる急峻な地形を形成している。一部には与那嶺層に属する泥岩や砂岩などの非石灰岩類も含み地質構造も複雑である。

ここに発達する植生は、特にイスノキを優占種に持つ天然林が大部分を占めているが、石灰岩地を特徴づけるリュウキュウガキナガミボチョウジ群団域の植生も多い。非石灰岩を母岩に持つ一部の地域には、イタジイの優先する森林が成立しており、植物学上からみてこの郡落の存在は貴重である。

また、沖縄島で本地域のみに自生する植物にはヒナカンアオイ、カツウダケカンアオイ(オナガサイシン)、ホソバテンナンショウ及びヌスビトハギの4種があり、その他にも沖縄島の固有種3種、琉球列島の固有種等植物地理学上貴重な種が多数分布している。

さらに本地域にはカラスバト、コノハチョウなどの国・県指定天然記念物の動物の生息地となっている。